

ガバナー月信

vol.13 2025 最終号



南雲年度感謝の集いにて

月信最終号

- ① 南雲年度を振り返って
 - ガバナー
 - 地区幹事
 - 地区財務委員
 - ガバナー補佐
 - 地区委員長
- ② 2025 年カルガリー国際大会
- ③ 2024-25 年度 財団・米山奨学寄付一覧



国際ロータリー第 2560 地区
2024-25 年度

南雲ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



「ロータリーはステージ・ みんなが輝く！」 感謝

2024-25 年度 ガバナー

南雲 博文 (長岡 RC)

ガバナーの退任にあたり、ゴールできた喜びと、何か忘れ物をしてきた感じが交差していますが、ガバナーという素晴らしい職責を与えていただきましたことに、2560 地区のロータリアンの皆様に改めて感謝申し上げます。皆様にご支援、ご指導を賜りまして、何とか無事に終了することができ、またこの年になって何にも代えがたい経験をさせていただきましたことも、重ねて御礼を申し上げます。

私は地区年度スローガンを「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」として大きいクラブも小さいクラブも、各クラブが、ひとり一人のロータリアンが輝き、RI 会長アーチック氏が掲げられたテーマ「ロータリーのマジック」を生み出してほしいと提案いたしました。それには特に分区内でクラブ同士が連携し、情報を共有し、活動を一緒にできるところは合同でやることで活性化できるのではないかと考えました。

まず公式訪問を分区内でグループ化して、情報の共有と活動の連携のきっかけを作ることを提案いたしました。公式訪問のスタートは地区で一番大きい新潟南クラブでした。最初であり緊張しましたが暖かくも盛大に迎えていただきました。2 日目は佐渡に渡り、午前中に佐渡クラブで 4 名の会員です。午後は佐渡南クラブで、夜は合同の懇親会を楽しくいただきました。このスタートから 2 日間で、私たちの提言しているもっと分区内で交流を深めることの重要性を感じました。

新潟県はあと 25 年で 210 万人から 150 万人に人口が減少します。今からロータリークラブの持続性を考えることも大切だと思います。

その後も合同公式訪問をやっていただき、アンケート結果も 95% は合同でやってよかったと評価をいただきました。合併ではなく連立で協業できるところは協同でやっていき、時に形を変えたクラブになっていくこともあり得ます。持続可能性を高めていくことに期待いたします。ガバナー補佐の方には合計 8 回の打合せ会議を、ラーニング委員会からも 3 回の補佐研修をご指導いただきました。合同公式訪問は初めての試みでしたが、補佐の方々には分区をよくまとめていただき、目的を達成できましたことに感謝を申し上げます。

ラーニング委員会も大変お世話になりました。米山年度に立ち上げられ、運用、対象は私の年度の方からで、三大研修会、ガバナー補佐、会長・幹事、ビギナーとラーニングをさせていただきました。2560 地区のロータリーレベルは間違いなく大きくボトムアップできたと感じました。今後に多いに期待したいと思いますし、感謝申し上げます。

ロータリーの大きな価値に、国際理解と交流（目的は世界平和です）と青少年の育成にあると考えますが、米山記念奨学、青少年交換留学、財団奨学生、インターアクト、ローターアクト、ライラ等活発に活動していただきました。これは将来への財産であり投資です。是非継続していただき併せて感謝申し上げます。

更に各委員長におかれましては、それぞれの委員会をよくご指導いただき、奉仕活動、寄付活動、活性化、災害支援をやっていただき、2560 地区の存在感と向上に貢献していただきました。心より感謝申し上げます。

結びになりますが、各クラブの会長、幹事さんはじめ会員の皆様には多大なご協力とご指導をいただきましてありがとうございました。またガバナー事務所の皆様にも教えていただきお手伝いを親身になってしていただきました。ありがとうございました。そして長岡地区の会員の皆様には 3 年間という永い期間にわたりお世話になりましたことを心より厚く御礼を申し上げます。

ロータリーはステージです。皆さんが舞台上で輝いてください！





南雲年度を振り返って

2024-25 年度地区幹事

阿部 修靖 (長岡 RC)

南雲年度を支えていただいたガバナー補佐の皆様、ガバナースタッフの皆様、そして 54 クラブの皆様、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

地区幹事の打診を受け覚悟を決めた 2022 年 6 月から早 3 年。あっという間でした。南雲ガバナーが変化を強調されている中、チャレンジと現状維持をその場面場面で使い分けを行ってきました。その際、エネルギーを要する変化に対して、前向きに取り組んでいただいた関係者の皆様に敬意と感謝を申し上げます。特にガバナースタッフの主たるメンバーである長岡 RC の皆様には、相当の負担をお掛けしたと思います。ですがスマートに成し遂げていただき、ロータリーの良さ、ロータリアンの凄さを感じました。このことはすべての地区委員会やクラブにも言えることです。

南雲ガバナーの重点目標の一つであった「ラーニング委員会の充実」ですが、ラーニング委員会のオブザーバーを兼任させていただいていましたので、南雲ガバナーの意向をスムーズに共有でき、委員会が的確に判断し活動していただきました。委員長はじめ委員の皆様には多くの負担をお掛けしました。大変ありがとうございました。

「ロータリーはステージ、みんなが輝く！」。さて皆様、輝いていただけたでしょうか。そのステージづくりを担ったつもりでしたが、満点ではなかったように感じています。皆さんが輝いている場面をこちらから見に行かなければいけなかったと今更反省しています。立場が変わってもこれから他クラブのいろいろな事業に足を運びたいと思っています。

南雲ガバナーに気持ちよくガバナーを務めていただくために、ベストな環境を整える役目でした。南雲ガバナーはネガティブ発言もなく、むしろ前向きに「迷ったら go！」の精神で後押しをいただきました。逆に私が気持ちよく地区幹事を務めさせていただきました。地区幹事に声掛けをいただき感謝いたします。

変化の多い年度を入念なチェックとフォローをいただいた地区事務所の大城主任、矢挽さん、斎藤さん、大変ありがとうございました。

最後になりますが、今後も地区幹事という貴重な経験を活かして、ロータリーと地区の発展に微力ではありますが、尽力していきたいと思っています。これからもご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度 地区財務委員
米山 孝之 (長岡 RC)

南雲年度が始まる約 5 か月前に財務委員に就任いたしました。

地区委員として地区の業務に携わった経験がほとんどございませんでしたので、自分に務まるのかという不安と共に、地区の委員会活動、研修、行事、組織、会計等について勉強しながら予算の策定と執行を実施した 1 年間でした。至らない点が多々あったかと存じますが、ロータリーの友情に免じてご容赦いただけると幸いです。何とか南雲年度の終了を迎えることができたのは、ひとえに地区事務所事務局員の皆様や地区役員の皆様のご理解とご協力のおかげだと感じており、感謝申し上げます。

予算につきましては、COVID-19 の流行が収束し、ロータリー活動が COVID-19 流行前の状態に戻ると予想されたことから、そのような活動がなされることを前提として策定いたしました。また、新たに地区補助金申請・報告システムを導入するための構築費用を計上することによる予算の修正、及び、近時の物価上昇に対応するための地区協議会補助金を増額することによる予算の補正を、それぞれ策定させていただきました。策定しました各予算につきまして、承認していただいた各クラブの会長の皆様には、深く感謝いたします。

大変な 1 年間ではございましたが、様々な出会いや学びの機会を与えていただいたことにより、私個人としては大変充実した貴重な時間を過ごすことができたと感じております。今回、財務委員を務めさせていただいたことにより得ることができた知識や経験を、今後のクラブ活動や地区活動に還元していけたらと考えております。私の財務委員としての活動を支えてくださった地区内の皆様に厚く御礼申し上げます。1 年間、ありがとうございました。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度 第 1 分区ガバナー補佐

風間 良光 (豊栄 RC)

南雲年度を振り返りますと、2023 年 8 月 22 日からのガバナー補佐研修から始まり、8 回のガバナー補佐会議が開催されました。

クラブ訪問では、グループ公式訪問の推進を掲げ実施しました。当第 1 分区は 9 クラブありますが、村上・村上岩船 RC、中条・中条胎内 RC、水原・豊栄 RC のグループ公式訪問 3 回と、新発田 RC、新発田城南 RC、新発田中央 RC の単独公式訪問 3 回の計 6 回の公式訪問とすることが出来ました。今回のグループ公式訪問は、ロータリーの運営上での新たな改革への挑戦ができる組織の柔軟性を感じました。

各 9 クラブへは、事前引継ぎ例会、事前訪問、公式訪問、後任引継ぎ例会と基本各 4 回のクラブ訪問を行うことが出来ました。各クラブでの、例会の進め方がそれぞれ異なり、各クラブの個性を感じるいい機会でした。

訪問以外には、新年度早々、7 月 19 日のインターアクト年次大会（新発田中央 RC スポンサー）を南雲ガバナーの代理として出席いたしました。更に 9 月 27 日にも、南雲ガバナーの代理として、新発田中央 RC 創立 30 周年式典へも出席いたしました。更に 10 月 12 日に第 1 分区 IM を月岡の清風苑で盛大に開催することが出来ました。続く 10 月 20 日には国際ロータリー 2056 地区大会開催では、地区のテーマ「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」を基に、南雲ガバナーもステージ上での素晴らしい書道パフォーマンスで輝かれました。

こうして 1 年間、地区のセミナー・委員会活動・その他クラブの周年式典に参加できる体験をさせていただき、とても楽しい一年でした。

結びに、各クラブの皆様や地区役員の皆様のご支援ご協力により無事務めることが出来ましたことを厚く感謝申し上げますと共に、各クラブの益々のご発展を祈念いたします。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度 第 2 分区ガバナー補佐

山崎 勲 (新潟北 RC)

思うに 2 年前の 5 月のある日、次年度会長の T 氏より電話があり伺いたいので待っていてくださいとのことで、T 氏の他に現年度会長の T 氏と 7 年前に私の年度に幹事を務めていただいた U 氏の 3 名で来ていただき、私がいったいどうしましたかと尋ねた所、次年度は当クラブからガバナー補佐を出さなければならないので補佐役を受けていただきたいたいとのこと、色々考えた上でお願いしに来ましたので是非受けてくださいとの要請があり、私は補佐の作業内容などよく知らないまま受けさせていただいたのがスタートとなりました。

南雲ガバナー年度の方針への理解と行動の進め方など約 1 年間で 8 回程の研修をいただきながら役割と作業内容の多さに戸惑いと重圧を感じました。分区のクラブにどの様に伝えたら協力してもらえるか。また、問題に直面したらどう対応するのかの不安を抱えながら最初の作業はクラブ協議会からと思っていましたが公式訪問までの日程の余裕が無く 7 月 17 日新潟南クラブから公式訪問のスタートとなり翌日 18 日は午前佐渡クラブ、午後から佐渡南クラブ、夜は新潟市内クラブから参加をいただき合同の懇親会で楽しいひと時となりました。引き続き 7 月 29 日に万代クラブとグランドホテルで、7 月 30 日には ANA ホテルにて東・北・中央 3 クラブ合同で行い、8 月 6 日にはイタリア軒で新潟クラブ、8 月 29 日は日航ホテルで新潟西クラブを最後に公式訪問を行うことが出来ました。

南雲ガバナー年度の行動テーマにどこまで添ったことが出来たかあまり自信はありませんが各クラブとのコミュニケーションを図ることが出来たのではと思っています。

他には創立記念式典で新潟クラブの 85 周年、佐渡南の 50 周年、新潟西クラブの 50 周年と各クラブが趣向を凝らした企画に各クラブの活気ある活動と取り組む姿勢に感動いたしました。

また、9 月 7 日に行った当クラブでの IM には大勢の御参加と御支援ありがとうございました。私の 1 年間の任期中に強く感じましたことはロータリーの仲間としての支援の強さで役割を無事果たす事が出来、大勢の仲間が出来たことに御礼を申し上げます。

補佐役を務めさせていただいて本当に良かったと思っています。



南雲年度ガバナー補佐を振り返って

2024-25 年度 第 3 分区ガバナー補佐

金子 洋 (村松 RC)

2023 年 8 月からのガバナー補佐会議・研修会に始まり、実質 2 年近くガバナー補佐活動でありました。第 3 分区は少人数で 5 クラブしかなく、すぐにガバナー補佐の輪番が回ってきます。さらに村松クラブ内でも順番がほぼ決まっており、とうとう自分の番となりました。こんな自分で勤まるのか心配でしたが、分区の皆様のご協力もあり何とか終わることが出来ました。本当に有り難うございました。南雲年度の方針の目玉に合同公式訪問がありましたが、合同は 2 クラブに留まりました。しかし分区内ゴルフ大会の盛んな実施、合同観桜会、あんこう鍋の会、国際交流会の参加等、クラブ同士の交流活動が盛んとなり意義のあった一年であったと思います。また、メイクアップ等したことが無い会員でしたが、ガバナー補佐として分区内クラブを訪問させていただき、例会の進行方法等についてロータリアンとして参考、勉強になりました。

ラーニング委員会の充実も重点目標の一つでしたが、ガバナー補佐研修会やクラブ協議会リハーサル等開催させていただき、不安無くガバナー補佐活動が開始出来ました。年度末には数年ぶりに開催されたビギナーラーニングにも参加しました。「いまさら訊けないロータリー」的な内容もあり、ビギナーならずとも勉強になり有意義な会でラーニング委員会の充実を実感しています。

蛇足ですが、私は現役開業医であり、診療時間の都合でクラブ協議会訪問や公式訪問の時間調整に不安がありました。幸い第 3 分区は 5 クラブと少なく、何とか時間を作ることが出来ました。公式訪問の日は思い切って臨時休診とし、ロータリーに全力投球しました。休診日が増えることで職員には非常に好評、「先生、良くわかりませんがガバナー補佐っていうの、ずっとやって下さい」と言われる始末です。次期ガバナー補佐に指名されそうで戦々恐々としているロータリアンの皆様、大丈夫です。一年位なら何とか出来ます。もし指名されたら是非引き受けてください。

まとまりの無い振り返りとなりましたが、一年間、ガバナー、地区幹事はじめスタッフの皆様、各分区ガバナー補佐の皆様、分区内会員の皆様との交流、ご協力を得て充実した一年間を送ることが出来ました。感謝申し上げます。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度 第 4 分区ガバナー補佐
杉山 幸英 (三条 RC)

ガバナー補佐の任期の 1 年前より、ガバナー補佐研修会に参加させていただきました。

以前のガバナー補佐の皆さんには驚きであったでしょうが、初めての私といたしましては、驚きはありませんでした。

変革の年であり、色々と大変なこともありましたが、やはり一番はグループ公式訪問でした。

分区内 11 クラブの会長・幹事の皆様と何回も話し合い、ご理解をいただきグループ公式訪問は無事終わることが出来ました。その結果、会長・幹事の皆様はグループ LINE を立ち上げ、皆さんで色々と相談・報告を行っておられるみたいです。各クラブの実状が今までより良くわかるようになり、小人数クラブの皆様と友好的交流を図っているようです。このことが一番良かったと思っています。長いようで短く、楽しい 1 年でありました。

南雲ガバナーを始め、地区役員の皆様、第 4 分区の会長・幹事・各クラブの皆様方には大変お世話になりました。感謝を申し上げます。ありがとうございました。





南雲年度を振り返って

2024-25 年度 第 5 分区ガバナー補佐

阿部 房雄 (柏崎東 RC)

南雲博文ガバナー年度の活動を振り返りスタートは、まず、2023 年 8 月 19 日の第 1 回ガバナー補佐研修でした。当初、研修の内容がまったく理解できず、このまま、ついていけるか心配でした。南雲ガバナーの地区テーマは、「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」でした。その中で、分区内をグループ化して、近隣のクラブといっしょに奉仕活動やガバナー訪問も合同開催できないか、提案されました。具体的にどのように進めればいいのか、わからない中で、地区幹事さんなどからアドバイスをいただきながらスタートしてみました。

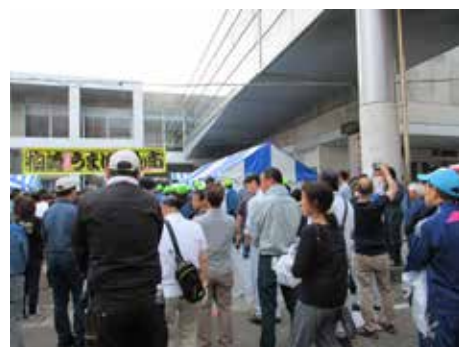
第 5 分区は、長岡地区が 4 クラブ、柏崎地区が 3 クラブ、合計 7 クラブで構成されています。まず、分区内をグループ分けできるのかどうか、できるとしたら、どのように分ければいいのか、各クラブの会長さん、幹事さんに相談しまして、最終的に、長岡地区の 4 クラブを 2 グループに、柏崎地区の 3 クラブを 1 グループに、合計 3 グループに分けることができまして、このグループごとにガバナー公式訪問を実施することに決定しました。

次は、公式訪問前にガバナー補佐がクラブ協議会を仕切って、意見をまとめるという作業に入りました。今から考えますと、ここもあまり、うまくいっていなかったなと感じています。ここでも、各クラブの会長さん、幹事さんに助けていただきながら、何とか、ガバナー公式訪問を迎えることができました。

唯一、グループでの共同奉仕活動的な作業として、2025 年 6 月の柏崎のえんま市後の、清掃作業を柏崎 3 クラブで実施できたことです。これは、公共イメージ向上につながったと思っています。

また、前年度開催しました第 5 分区交流ゴルフ大会についても、今年度も実施しました。これは、恒例の事業になっていくものと思います。

何はともあれ、1 年間無事に活動を終えることができ、ほっとしております。これもひとえに皆様の御協力のたまものと、感謝しております。本当にありがとうございました。





南雲年度を振り返って

2024-25 年度 第 6 分区ガバナー補佐

吉田 之人 (十日町 RC)

南雲年度を振り返ってみると、2023 年 8 月の第 1 回ガバナー補佐会議に始まり、研修期間を含め、2 年弱の活動でした。南雲博文ガバナーの掲げたスローガン「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」



のもとで、第 6 分区は会長幹事会での協議の結果、全クラブでのガバナー合同公式訪問、そして IM（インターシティミーティング）を同時開催で行うこととなり、十日町ロータリークラブをホストとして、9 月 28 日（土）に、「あてま高原リゾートホテル ベルナティオ」において、約 80 名の参加で盛大に開催されました。過去にあまり例が無いような手法ですが、思考錯誤しながら行うことで我々に良い経験と絆をもたらしてくれました。また基調講演では歴史小説家の伊東潤先生をお招きし、「歴史から学

ぶ 7 つの教訓」と題し、歴史上の著名な人物の生き様を学ぶことで、我々の今後の生き方について大変勉強になりました。



カナダ コロンビア大氷原にて

4 月に東京で行われた「クラブ活性化セミナー」、9 月に横浜で行われた「ロータリー研究会」、予定者の段階から 8 回に及ぶガバナー補佐会議や研修会、6 分区内のクラブ協議会や例会参加等貴重な経験を沢山いただきました。カナダのカルガリーでの世界大会にも参加させていただき、ロータリーの素晴らしさを実感いたしました。

若輩もので経験の少ない私をガバナー補佐として送り出していただいた十日町クラブの皆様、親切丁寧にご指導いただいた 2560 地区の役員の皆様、熱心に御協力いただいた 6 分区の会長幹事をはじめとする会員の皆様に心より感謝申し上げます。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度 第 7 分区ガバナー補佐

和泉 伸一郎 (新井妙高 RC)

国際ロータリーステファニー A・アーチック会長は、国際ロータリーの今年度のテーマとして「ロータリーのマジック」と活動テーマを掲げ、継続と変化のバランスをとることで常にマジックが行われ昨日と今日では変化が起きており、世界を変えられると述べておられます。

これを踏まえて、国際ロータリー第 2560 地区南雲ガバナーは「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」という目標を地区方針とされました。特に各分区内で近隣のクラブとの連携で、会員増強、補助金の活用、親睦を各クラブが協力することで、今まで出来なかった事が出来るのではないかとの思いを熱く語られました。これをうけ、第 7 分区を（高田・新井妙高・高田東 RC）（直江津・越後春日山 RC）（糸魚川・糸魚川中央 RC）の三ブロックに分け活動を行いました。

実施に際しては、地区のラーニング委員会の研修をはじめ地区役員の皆様のご指導により、各クラブへの訪問準備や段取り、手順を事細かくレクチャーを受け何とか理解をいただきブロック合同ガバナー公式訪問をさせていただきましたこと大変嬉しく思っております。

第 7 分区 IM についてですが、10 月 5 日に親睦ゴルフ大会、10 月 12 日には「人口減少時代に負けるな、上越エリアの魅力再発見」をテーマに上越、糸魚川、妙高三市各方面で活躍されている方々より、現状を確認しながら様々な視点でパネルディスカッションを実施いたしました。U ターン、移住、行政の立場で発言をいただき私自身ロータリアン一人一人が考え、行動しなければ地域、ロータリークラブがなくなるという危機感を持ってアクションをおこさねばと強く感じたところです。

また、記念事業として上越、糸魚川、妙高三市の子供食堂に米を寄付させていただき時節が大変喜んでいただきました。

最後になりますが、一年間第 7 分区のロータリアンの皆様、南雲ガバナー、地区役員、各分区のガバナー補佐の皆様の協力のお陰でガバナー補佐として本当にお世話になり感謝申し上げます。



3年間の総括

2020-26 年度クラブ活性化委員会
委員長

石本 隆太郎 (新潟 RC)

2022-23年度・高橋G年度より会員増強・戦略計画・広報公共イメージ向上委員会委員長を拝命し、2023-24年の米山G年度、2024-25年度の南雲Gまでの3年任期が終了いたしました。引き続き、2025-26年度の室賀Gより「クラブ活性化委員会」の委員長をやるよう要請を受け、地区の会員増強を担当することになりましたが、去る7月26日に、2025-26年度「地区クラブ活性化セミナー」を開催することができ、南雲G年度のデータもまとまりましたので、それを基に3年間の総括をさせていただきます。

高橋ガバナー年度から、南雲ガバナー年度までの3年間の総括

1992-93年栗山G年度に地区拡大委員長を拝命。2006-07年中條G年度に地区会員増強委員長を拝命してから、毎年7月1日現在の会員数を基にして、会員数の多いクラブ順に並び替えた一覧表「第2560地区・会員増強:クラブ別健康診断書」を作成。新型コロナウイルスによる感染症の発生後、分區別に再編した「会員増強:分區別健康診断書」を会員増強セミナー等の参考資料にしてきました。

2019-20年・大谷G年度7月1日現在の会員数は2,052名で、2020-21年・佐藤G年度の7月1日現在の会員数は2,074名となり、22名の純増となりました。ところが、忘れもしない2020年の年明け早々に、新型コロナウイルスによる感染症が世界中に蔓延し、ロータリー活動にも様々な影響をもたらした結果、2020-21年・佐藤G年度の2,074名から、2021-22年・高尾G年度は2,000名へと74名も減少しました。さらに、2021-22年の高尾G年度から2022-23年の高橋G年度にかけても、2,000名から1,958名へと42名減少。2年間で116名も減少したため、改めて新型コロナの影響を思い知らされました。

2022-23年・高橋G年度に地区会員増強委員長を拝命し、2年間で中断した「地区会員増強セミナー」も復活できて会員増強に取り組み、高橋G年度の1,958名から、2023-24年の米山G年度にかけては、1,990人と、純増32名を達成できました。

コロナ禍の影響も徐々に下火になり、米山G年度の会員増強も順調に行くかと期待していましたが、年度末の5月から6月にかけて中規模クラスを中心に退会者が続出し、最終的に1,990名とほぼ横ばいという残念な結果で終了しました。

2024-25年の南雲G年度には、クラブ活性化委員会と名称を変更して、会員増強に取り組みました。今年も、5月末までは2,041名と健闘しており、2,000名の大台突破を期待しておりましたが、5月末から6月の年度末にかけて、三条北RC(-6名)、新潟RC(-5名)、長岡東RC(-4名)、長岡RC(-4名)、

長岡西RC(-3名)、柏崎東RC(-3名)と、大都市部のクラブで退会会員が続出し、最終的に1,981名となって、2,000名の大台回復は達成できませんでした。

こうした傾向は日本全地区の会員数や世界の会員数減にも現れており、新型コロナの影響と共に、ロシアのウクライナ侵攻が、日本及び世界経済回復の足を引っ張っているからと思われます。

2020-21年の佐藤G年度から、2025-26年の室賀G年度にかけての5年間を見た場合、新潟南RCが98名から114名に16名純増、新潟西RCも38名から53名に15名の大幅純増、その他、十日町RCが29名から38名に9名純増、村松RCが12名から19名に7名純増と健闘しています。



RI・2560地区・会員増強・分区分別クラブ別健康診断書

2025年7月26日：地区クラブ活性化セミナー参考資料

110%以上	作成責任者 石本隆太郎(新潟RC)
105%以上110%未満	1992～93(果山ガバナー年度)地区・拡大委員長
95%以上105%未満	2006～07(中條ガバナー年度)地区・会員増強委員長
85%以上95%未満	2011～12年度・2560地区ガバナー
85%未満	2022～2026年・2560地区クラブ活性化委員長

		RI2560地区				令和2年～令和3年				令和3年～令和4年				令和4年～令和5年				令和5年～令和6年				令和6年～令和7年				令和7年～令和8年			
		クラブ情報				2020年1月～新型コロナウイルスによるパンデミック																2022年3月～ロシアのウクライナ侵襲							
		2024-25年度PETSプログラム P28参照				2020-21佐藤年度(S)				2021-22高尾年度(T)				2022-23高橋年度(U)				2023-24米山年度(V)				2024-25南雲年度(W)				2025-26室賀年度(X)			
区分	7月1日現在 R C 名	(単位円) (単位円) 単位円			会員数				会員数				会員数				会員数				会員数				会員数				
		例会日/開始時間	入会金 R活動費	年会費	7月1日現在 会員数	女性 会員数	S-R	S/R %	7月1日現在 会員数	女性 会員数	T-S	T/S %	7月1日現在 会員数	女性 会員数	U-T	U/T %	7月1日現在 会員数	女性 会員数	V-U	V/U %	7月1日現在 会員数	女性 会員数	W-V	W/V %	7月1日現在 会員数	女性 会員数	X-W	X/W %	
1	新発田	月曜日/12:30～	50,000	220,000	2,000	95	0	4	104	93	0	-2	98	88	0	-5	95	89	1	1	101	87	1	-2	98	90	1	3	103
1	中条	水曜日/12:30～	30,000	200,000	2,000	43	4	4	110	42	3	-1	98	44	3	2	105	48	3	4	109	49	3	1	102	48	3	-1	98
1	新発田中央	水曜日/12:30～	30,000	200,000	2,000	45	4	-5	90	44	4	-1	98	45	4	0	100	44	6	-1	98	44	6	0	100	44	6	0	100
1	新発田城南	水曜日/12:30～	30,000	220,000	2,000	44	4	4	111	40	3	-4	91	38	3	-2	95	38	4	0	100	39	5	1	103	38	5	-1	97
1	中条船内	金曜日/12:30～	20,000	200,000	2,000	36	6	-1	97	35	6	-1	97	36	7	1	103	37	7	1	103	39	9	2	105	39	11	-1	100
1	村上	水曜日/12:30～	30,000	216,000	2,500	40	10	-3	94	38	9	-2	95	39	9	1	103	39	9	0	100	38	9	-1	97	38	8	0	100
1	水原	水曜日/12:30～	20,000	190,000	1,500	30	1	0	100	32	1	2	107	33	1	1	103	31	1	-2	94	33	2	2	106	35	2	2	106
1	村上岩船	月曜日/12:30～	20,000	216,000	2,500	31	6	3	111	28	5	-3	90	27	5	-1	96	26	6	-1	96	26	6	0	100	26	7	0	100
1	豊栄	火曜日/18:30～	10,000	200,000	2,000	23	3	0	100	20	3	-3	87	23	2	3	115	25	2	2	109	23	2	-2	92	21	2	-3	87
AG	小泉 茂 (新発田中央RC)				387	38	6		372	34			373	34	1		378	37	5		378	43	0		379	45	0	100	
2	新潟南	水曜日/12:30～	50,000	240,000	3,000	98	3	-5	96	105	3	7	107	108	4	3	103	114	6	6	106	113	8	-1	99	114	8	1	101
2	新潟	火曜日/12:30～	60,000	241,000	3,000	88	2	4	105	82	2	-6	93	79	2	-3	96	78	3	-1	99	78	3	0	100	73	3	-5	94
2	新潟東	金曜日/12:30～	0	250,000	3,000	63	9	9	117	62	8	-1	98	63	7	1	102	61	7	-2	97	62	7	1	102	66	11	-4	106
2	新潟西	水曜日/12:30～	30,000	245,000	3,000	40	5	-1	98	39	2	1	103	38	2	-1	97	40	2	2	105	52	3	12	130	53	3	1	102
2	新潟万代	月曜日/18:30～	30,000	250,000	3,000	43	7	4	110	41	6	-2	95	42	7	1	102	43	7	1	102	40	6	-3	93	39	6	-1	98
2	新潟北	月曜日/12:30～	50,000	240,000	3,000	38	2	1	103	37	0	-2	95	35	1	-2	95	37	1	2	106	37	1	0	100	37	1	0	100
2	佐渡南	火曜日/12:30～	0	220,000	2,000	39	0	1	103	40	4	0	100	38	4	-2	95	36	3	-2	95	38	3	2	106	43	3	5	113
2	新潟中央	火曜日/12:30～	30,000	240,000	3,000	20	0	-2	91	21	0	1	105	18	0	-3	86	22	0	4	122	23	0	1	105	24	0	1	104
2	佐渡	水曜日/12:30～	0	203,000	2,000	6	0	0	100	6	0	0	100	5	0	-1	83	5	0	0	100	4	0	-1	80	3	0	-1	75
AG	大野 雅弘 (新潟中央RC)				435	28	11		433	25	-2		426	27	-7		436	29	10		447	31	11		452	35	5		
3	白根	水曜日/12:30～	20,000	200,000	2,000	30	1	-1	97	29	1	-1	97	30	1	1	103	32	1	2	107	32	1	0	100	33	2	1	103
3	新潟中央	火曜日/12:30～	20,000	192,000	1,500	26	2	-2	93	22	2	-4	85	26	3	4	118	26	3	0	100	27	4	1	104	25	4	-2	93
3	新津	水曜日/12:30～	0	204,000	1,500	17	0	-2	89	17	1	0	100	18	1	1	106	15	1	-3	83	15	1	0	100	16	1	1	107
3	村松	火曜日/12:30～	30,000	216,000	1,500	12	0	2	120	12	0	0	100	10	0	-2	83	12	0	2	120	15	0	3	125	19	1	4	127
3	阿賀野川ライン	水曜日/12:30～	20,000	204,000	2,000	6	0	-3	100	6	0	0	100	5	0	-1	83	6	0	1	120	6	0	0	100	5	0	-1	83
3	五泉	2022.6.30クラブ終結			12	1	0	67	11	1	-1	92	2022.6.30クラブ終結				2022.6.30クラブ終結				2022.6.30クラブ終結					2022.6.30クラブ終結			
AG	池野 比呂史 (新津RC)				103	4	-6		97	5	-6		89	5	-8		91	5	2		95	6	4		98	8			
4	三条	水曜日/12:30～	40,000	250,000	1,500	60	0	4	107	56	0	-4	93	55	0	-1	98	53	0	-2	96	54	0	1	102	54	0	3	100
4	三条北	火曜日/12:30～	20,000	230,000	1,800	60	3	0	100	58	2	-2	97	54	2	-4	93	52	2	-2	96	52	3	0	100	46	5	-6	88
4	燕	水曜日/12:30～	10,000	230,000	1,500	36	3	3	109	34	3	-2	94	33	2	-1	97	39	2	6	118	42	3	3	108	41	3	0	98
4	三条南	月曜日/12:30～	30,000	240,000	1,500	45	2	-3	94	44	2	-1	98	35	1	-9	80	42	2	7	120	37	3	-5	88	38	3	1	103
4	三条東	水曜日/12:30～	10,000	240,000	1,800	33	4	-1	97	31	3	-2	94	32	3	1	103	37	4	5	116	34	4	-3	92	34	5	0	100
4	分水	火曜日/12:30～	20,000	192,000	1,500	30	4	2	107	29	4	-1	97	29	4	0	100	31	4	2	107	30	4	-1	97	33	4	3	110
4	加茂	水曜日/12:30～	0	200,000	1,500	30	5	2	107	33	5	3	110	31	4	-2	94	29	4	-2	94	29	4	0	100	27	4	-2	93
4	巻	水曜日/12:30～	0	180,000	2,000	24	2	0	100	25	2	1	104	25	3	0	100	27	3	2	108	26	2	-1	96	22	2	-4	85
4	吉田	金曜日/12:30～	30,000	192,000	1,500	26	3	-5	84	28	3	2	108	28	3	0	100	28	3	0	100	24	3	-4	86	24	3	0	100
4	見附	水曜日/12:30～	20,000	192,000	2,000	22	1	2	110	21	1	-1	95	21	1	0	100	20	1	-1	95	20	1	0	100	20	1	0	100
4	田上あじさい	火曜日/12:30～	10,000	108,000	1,500	7	1	0	100	7	1	0	100	6	1	-1	86	6	2	0	100	6	2	0	100	5	2	0	83
AG	青柳 修次 (燕RC)				373	28	4		366	26	-7		349	24			364	27	15		354	29	-10		344	32	-10		
5	長岡東	水曜日/12:30～	30,000	240,000	3,000	58	3	0	100	52	4	-6	90	52	4	0	100	54	5	2	104	60	9	6	111	56	7	-4	93
5	長岡西	水曜日/12:30～	20,000	210,000	3,000	52	5	-2	96	50	4	-2	96	49	3	-1	98	48	3	-1	98	49	3	1	102	46	2	-3	94
5	長岡	火曜日/12:15～	30,000	200,000	3,000	49	4	3	107	45	3	-4	92	44	3	-1	98	46	3	2	105	47	5	1	102	43	5	-4	91
5	柏崎	水曜日/12:30～	20,000	200,000	2,000	42	3	-2	96	41	2	-1	98	40	0	-1	98	42	0	2	105	45	0	3	107	45	0	0	100
5	柏崎東	月曜日/12:30～	21,000	216,000	2,000	46	0	1	102	45	1	-1	98	43	3	-2	96	40	2	-3	93	41	2	1	103	38	2	-3	93
5	柏崎中央	火曜日/12:30～	15,000	216,000	2,000	36	10	0	100	38	12	2	106	39	12	1	103	36											



活性化されたクラブ、4つの定義

2024-25 年度戦略計画委員会

委員長

大澤 力 (新潟西 RC)

クラブ活性化委員会の小委員会、戦略計画委員会目線で南雲年度を振り返りたいと思います。2024年6月に地区研修協議会第2セッションの運営、同年7月に地区クラブ活性化セミナーの運営と、ZONE1A,2&3 公共イメージ向上セミナー ZOOM 参加。その後、各クラブからの依頼で「新会員が増える！好ましい考え方!?」と題しまして、クラブビジョン・戦略計画（行動計画）、DEI、3-year Rolling Goals 等の卓話でお邪魔しました。その他、ガバナー事務所・ガバナー補佐・地区副幹事さん経由で、各クラブから多岐にわたるご相談やお問合せを頂き、私なりに調べご返答してきた次第です。しかしながら、地区研修協議会第2セッションにて各クラブの会員増強委員長さんにクラブビジョン・戦略計画（行動計画）のお話をするのに違和感がありました。きっと、皆さんの中にも感じていた方はいたでしょう。

皆さんは“活性化されたクラブ”の定義があるのをご存じでしょうか？ 手続要覧からは、だいぶ前に消えたそうですが…①会員増強をしていること、②奉仕活動をしていること、③ロータリー財団に寄付をしていること、④クラブレベルを超えて活躍出来るリーダーを育成していること、この4つだそうです。標準ロータリークラブ定款第3条“クラブの目的”そのものだと思います。果たして、この4つの定義を実践していくのはクラブの各委員長でしょうか？ もはや会員維持増強始め、この4つの定義は各担当委員長が「気合と根性」で頑張る時代から、クラブ会長がリーダーシップを取りクラブビジョンや行動計画、広報・公共イメージ向上を手段にし、多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) も取り入れながら、組織的かつ継続的に対応していく時代になったと思われます。その為にもクラブ活性化セミナーには、クラブ会長をリーダーとした各クラブの活性化チーム皆さんでご参加頂ければ幸いです。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

Welcome

Rotary
第2580地区
2021-22若林



オープン例会成功のための 10のヒント

会員増強に本気になること。覚悟を持つこと。
愛をこめて、丁寧に接すること。できることは、全てやること。
人任せでは仲間は増えません。



国際ロータリー第2840地区
2017-2018年度ガバナー
高崎ロータリークラブ所属

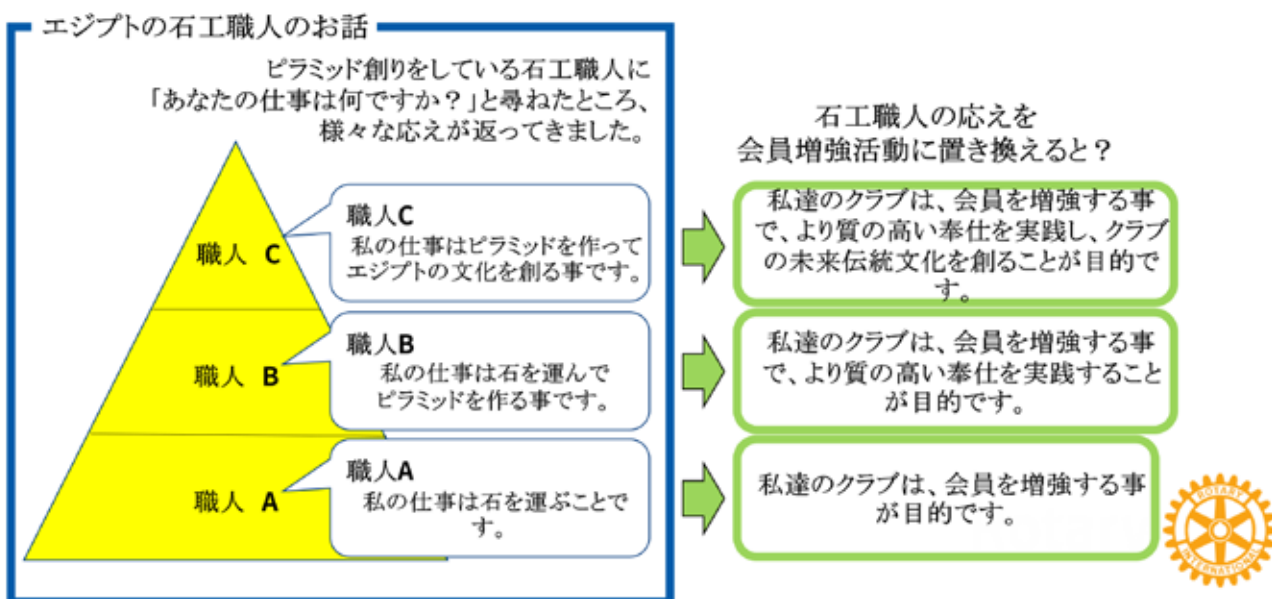
幻冬舎 ロータリークラブに入ろう





www.japanrotary.club 

ピラミッドを創る石工職人から学ぶ、会員増強の考え方！





南雲年度を振り返って

2024-25 年度職業奉仕委員会

委員長

佐藤 渉 (栃尾 RC)

昨年度の皆様のロータリー活動に感謝申し上げます。

さて、職業奉仕委員長という立場での一年を振り返ってみたいと思います。

いくつかのロータリークラブ様より卓話を依頼され交流出来たことと暖かく迎え入れていただいたことにあらためて感謝申し上げます。

卓話に呼んでいただいたのは良いのですが、「職業奉仕」を説明するほどの経験や知識は持ち合わせていなかったのも、その都度なにを喋ってよいのか悩んでいました。

今考えれば、わかったような事を並び立てて喋っていたような感じで、最初の頃は少し浅はかであった気もいたします。

一年が経ちようやく私自身が「職業奉仕」について一定の結論は出たように思えたので、年度末に当クラブでの卓話の順番が参り、せっかくなので職業奉仕の話をさせていただきましたが、残念ながら私の考えていることは伝わらなかったと思います。

私の解説能力の低さもありますが、あらためて「職業奉仕」を説明することの難さを感じました。

総括させていただきますと、私にとってのこの年度は「職業奉仕」とは何か・・・他人にどう伝えるか・・・を考える一年でした。

最後まで上手くいきませんでした。多分それを考えることこそがロータリアンの行うことではないでしょうか。

皆さんも“ロータリークラブとは何か？職業奉仕とは何か？”と言うことを一度真剣に考えていただくと良いと思います。必ずロータリアンでいることの意味がわかってくるはずですよ。

一年間、2560 地区の職業奉仕委員長という大役を仰せつかりました。あまり地区への貢献にはならなかったかもしれませんが、私自身がロータリーへの理解に前進したことは間違いありません。

これを活かして今後のロータリー活動や、2560 地区の活動への貢献をしていきたいと思っています。最後になりますが、優しく見守っていただいたロータリアンの皆様に御礼申し上げます。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度社会奉仕委員会

委員長

青木 省一（長岡西 RC）

第 2560 地区運営方針「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」を受けて、2024 年 6 月 1 日のロータリー地区研修・協議会のセッションの中で、従来単独実施していた社会奉仕活動を分区内グループに拡大し、共同実施してはどうかと提案しました。

基本方針

○分区内グループとしてロータリー財団活動資金（地区補助金・DDF）の奉仕活動の推進

活動計画

○地区活動資金（地区補助金）申請に基づいた社会奉仕活動の取材

活動報告

○分区内グループとしての社会奉仕活動の実践については未調査でした。

活動取材

2024 年 11 月 3 日	「楽楽いきいきドライブ」	加茂ロータリークラブ	月信 12 月号掲載
11 月 19 日	「ロータリースマホ教室」	栃尾ロータリークラブ	月信 1 月号掲載
2025 年 3 月 26 日	卓話「地区社会奉仕活動」	新井妙高ロータリークラブ	
4 月 7 日	「高田城址公園清掃」	高田東ロータリークラブ	月信 5 月号掲載
6 月 1 日	「シングルスパーティー」	雪国魚沼ロータリークラブ	月信 7 月号掲載

南雲年度社会奉仕委員会は主に地区補助金を活動資金としての奉仕活動取材しましたがその他にも多くのクラブが、青少年・教育・地域社会・環境等に奉仕活動を行っており、また地区補助金を資金とせずに、長年に渡り社会奉仕活動をしている様々なクラブがあることに、心より敬意を表します。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度国際奉仕委員会

委員長

杉本 俊夫 (長岡東 RC)

南雲年度での目標は国際奉仕活動の活性化でありまして、地区での国際的な取り組みをうながす事とロータリー活動の活性化でした。

1. ロータリーグローバル補助金 (GG) 有効活用では、興味のある RI2560 地区内クラブ訪問と卓話をいたしました。私が数年前から活動して何度かの GG を実現させているモンゴルのクラブからの提案もあり数クラブに提案しましたが、今年度内実現はできませんでした。本年 7 月国賓として天皇皇后両陛下がモンゴルを訪問されることにより、両国間での交流も増え理解が深まることでより交流機会が増えて、ロータリー活動も活発に推進されることを祈念いたします。私は個人会員として今後ともこの活動は進める考えです。
2. 海外のクラブとの交流では、長岡東 RC では台北旭日 RC と台北東海 RC を訪問しました。長岡東 RC と長岡西 RC と前橋西 RC の合同チームで参りました。これらのクラブは日本との交流が多い方や、米山留学生経験者が多数在籍しているクラブで、卓話は日本語が使われています。何かの用事で台湾に行かれる時は立ちよられたら良いと思います。下の集合写真は台北東海 RC 訪問時の写真です。日本の大学生さん達が恩師に連れられて台湾を訪問されていましたが、我々も合流いたしました。





南雲年度、青少年奉仕活動を振り返って

2024-25 年度青少年奉仕委員会

委員長

天木 正史 (中条 RC)

青少年奉仕委員会は、インターアクト委員会・ローターアクト委員会・ライラ委員会・青少年交換委員会の4委員会からなる委員会です。南雲年度の1年の活動を振り返り、携わっていただきましたスタッフや、関係者の皆様には心より感謝申し上げます。ロータリーとしての経験が少なく、何事も初めて尽くしでご迷惑をおかけした部分も多々ありましたが、無事に全ての活動を終えることが出来ました。

コロナ禍が明け、南雲年度ではコロナ禍以前と同じ規模の活動を各委員会が行うことが出来ました。しかしながら、コロナ禍で活動できなかった4年間のブランクは大きく、各委員会ともとても苦勞して事業を組み立てていたことと思います。そんな中でも以前より、より良い事業を実施し終えることが出来ましたことをご報告いたします。

インターアクト委員会では、7月にインターアクト年次大会を新発田中央 RC 主管のもと、新発田・月岡の地で行い、県内のインターアクターが集い、新発田駐屯地にて防災、災害救助を学び、各校の活動報告の発表も行い、グループディスカッションでは活発な意見も見られました。また、コロナ禍で事業を中止していた2560地区と2840地区のインターアクターと地域交流事業を再開し、インターアクター国際交流事業として友好国である台湾との研修を行い、国際理解と親善を深めインターアクター達の充実した姿を見ることが出来ました。

ローターアクト委員会では、地区ローターアクトの活動の支援とローター会員へのローターアクト活動の周知とアクト会員増強の協力依頼、地区大会や各地ローターアクトの周年など様々な事業が開催されました。

ライラ委員会では、コロナ禍以前の1泊2日のライラ研修を行い、参加者には経済や金融に興味を持ち、自らの未来を見据えるための基礎知識を身につける研修を行いました。日本において、金融教育はタブー視されてきましたが、最近では金融や投資など様々なセミナーなどが開催されるなど、経済や金融などは今後の生活にとって重要であることを学ばせてもらいました。また、2日目も実際に地域で行われている行事に触れ、体験することによって座学や講演・講習では学び得ない、実学を通し地域愛を醸成することが出来たと思います。

青少年交換は昨年数年ぶりに再会された短期、長期交換留学が無事に帰国するとともに、南雲年度も短期・長期ともに派遣することが出来ました。各国から来た交換留学生も、無事に交換留学を終え

て帰路に着くことが出来ました。ホストクラブや、ホストファミリーの皆様は、思い出も深いようで壮行会では様々な思い出をお話しされていたのが印象的でした。

青少年奉仕はロータリーの未来。青少年奉仕を通じて、人が育ち、地域社会が育てば、ロータリーも育つ。ロータリーの素晴らしい青少年プログラムを通じ、若い方々が成長し、地域と共に歩み、そしてまた私たちロータリーの仲間になって活動してくれたらと思います。

知識も経験も乏しい私に、素晴らしく刺激と成長のある1年を送らせていただきましたことに、感謝申し上げます。そして、支えていただきました南雲ガバナーをはじめとする地区役員の皆様と、事務局の皆様には心より感謝いたしまして、2024-25 年度を終えさせていただきます。





南雲年度を振り返って

2024-25 年度インターアクト委員会

委員長

本田 保 (新発田中央 RC)

振り返れば2年半程前、現クラブ会長・幹事より、インターアクト委員会へのお声がけをいただき、断る理由もなく、その大役をお引き受けすることとなりました。その時のことは今でも鮮明に記憶しております。皆様からのご支援、そしてクラブの温かいご協力により、無事に任期を全うすることができました。心より感謝申し上げます。

7月に開催された年次大会では、月岡温泉を会場に、例年とは異なり金曜・土曜での開催となりました。これは宿泊施設の都合があり、参加が難しくなるのではという懸念もありましたが、提唱クラブ様と、学校関係者皆様の多大なるご尽力により、最終的には総勢134名もの多くのご参加を頂き、充実した大会となりました。特に未提唱クラブの皆様からの温かいご支援には、心より感謝申し上げます。

研修会では、陸上自衛隊新発田駐屯地様のご協力を得て、災害時対応に関する貴重なお話を伺うことができました。グループワークでは、生徒同士が「自衛隊に学ぶ公助と私たちのできる自助」をテーマに活発な意見交換を行い、互いに真剣に向き合う姿が非常に印象的でした。特に、授業の都合で夕方に到着した生徒たちに対し、先に到着していた生徒たちが積極的に声をかけ、打ち解けるきっかけを作ってくれた場面は、生徒たち自身の成長を感じさせる光景でした。

また、国際交流事業では、2840地区および台湾との交流が5年ぶりに実現しました。群馬と新潟が連携し、長年にわたる準備と協議を重ねた結果、心温まる交流が実現できたことは、大きな成果であったと感じております。群馬での受け入れに際しては、現地の皆様が綿密な打ち合わせを重ね、台湾側との信頼関係を築きながら、生徒・保護者への丁寧なオリエンテーションを実施されました。その結果として、非常に実りある国際交流となりました。新潟からもこの交流に何らかの形で貢献したいとの思いから、地区関係者と相談を重ね、当日に参加が叶わない中でも、室賀ガバナーエレクトにご協力いただき、ビデオレターを作成して頂き、ウェルカムパーティーで上映され、台湾の皆様へ新潟からの歓迎の気持ちを伝えることができました。この場を借りて改めて感謝申し上げます。

こうした交流を通じて、2840地区の皆様との絆、そして台湾の皆様との信頼関係に少しでも貢献できたことを、大変光栄に思っております。

結びに、今後のインターアクト活動がさらに発展していくことを願い、引き続きインターアクトクラブに対して、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この2年間、多くの学びと経験をさせて頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。



南雲年度を振り返って

2024-25 年度ローターアクト委員会

委員長

長崎 寿秀 (新潟南 RC)

ローターアクト委員長として振り返ってみますと、「もっとやれたな、やるべきことがあったな。」と思います。入会して3年、委員長にさせていただきましたが、3年では短く、今やっと少し理解でき、スタート地点に立てたくらいで、気が付けば引継ぎとなっていました。関わるほど足りないと感じ付かれ、自分の勉強不足を痛感しました。委員長としてアクターの子たちともっと沢山、時間、経験、知識を共有して学びたかったです。私や委員会からもっと沢山教えてあげたかったと思いました。今年7月から一委員会として独立する事になり、地区は勿論、各クラブのローターアクトも大きく変わる過渡期を迎えたと思います。当地区の RAC は9クラブですが、今のままでは増えるどころか、衰退してしまうでしょう。アクターの子たちが少なくなるという事は、これから世界との懸け橋となるべく若き優秀な人材を失うという事です。毎年一人ずつ、親クラブから委員会メンバーを選出していますが、それも難しい状況であります。今後は親クラブ以外からのメンバー、特に RAC 出身のロータリアンの補充を視野にいれ、携わっていただければと思います。この1年、アクターの皆さんから沢山の事を学びました。彼等は非常に優秀で良い子達ばかりです。この子たちが、沢山の事を学び挑戦する機会が増える仕組みを今後の委員会でも構築していただきたいです。その為にも沢山の他クラブの皆様から興味を持って積極的に参加していただきたい。彼らが我々ロータリアンと同列といってもそれは全然違います。我々ロータリアンの支援が無いと運営出来ません。我々が積極的に関わることで、彼らが将来世界から注目される素晴らしい能力を開花させ、世界の懸け橋となってくれます。

大変遅れましたが、昨年1年、会員の皆様には多大なるご協力とご支援をいただきまして誠に有難うございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。そしてこれをお読みになった皆様、更なる RAC へのご参加・ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。



第 23 回ライラ研修を振り返って

2024-25 年度ライラ委員会

委員長

本間 啓介 (村上 RC)

国際ロータリー第 2560 地区第 23 回ライラ研修会が、村上ロータリークラブをホストクラブとして開催されました。研修に先立ち、ライラ実行委員会では計 6 回の会議を重ね、当日は完成度の高い充実した研修となりました。村上ロータリークラブの持つ高いポテンシャルを、あらためて実感する機会となりました。

さて、研修は 3 月 29 日から 30 日の 1 泊 2 日、村上市情報センターを会場に、「次世代を担う青年に経済について知っていただく」をテーマに、サブテーマ「日本を取り巻く現状、そして未来について！」のもとで実施されました。

本年度は経済に関する一貫したプログラム構成とし、1 日目は経済・投資の専門家による講義、2 日目は地域活性化の事例紹介と実地研修など、内容の濃いプログラムを提供いたしました。参加者からは、「素晴らしい企画だった。これまで参加した研修の中でもトップクラスだった。それだけを伝えたくて」と、帰り際にわざわざ声をかけてくださる方もおり、企画委員としてこの上ない喜びを感じました。

最後になりますが、本研修の開催にご尽力・ご協力いただきました村上市長をはじめ、村上ロータリークラブの皆様、地区内各ロータリークラブ、南雲ガバナー、風間ガバナー補佐、青少年奉仕委員会の天木委員長以下委員の皆様、また村上ロータリークラブの佐藤学会長、今井実行委員長並びにメンバー各位、その他多くの関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。





南雲年度を振り返って

2024-25 年度青少年交換委員会

委員長

神谷 勇一（糸魚川中央 RC）

南雲年度は長期交換学生 4 名、短期交換学生 3 名のプログラムを無事に終了することができました。南雲ガバナーにはノミニー年度より青少年交換プログラムに参加いただき、エレクト年度には長期、短期派遣学生の選抜試験から 4 回のオリエンテーションを全て参加いただき、派遣学生に対するお遣いを頂戴いただきましたことに委員会一同、感謝しております。

また南雲年度より新たな試みとしましてガバナークラブへの例会訪問を行い長岡 RC の皆様にご挨拶とご報告をさせていただきました。

今後も青少年交換プログラムの推進と、ロータリアンの皆様へのご理解とご協力をいただくためにも引き続き継続してまいります。

今後も青少年交換委員会は「青少年交換はロータリー活動の一丁目一番地、世界平和のアンバサダー育成でもあり未来のロータリアンを生み出す活動」という認識を持って活動して参りますので、引き続き皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。





2024-25 年度を振り返って

2024-25 年度ロータリー財団委員会

委員長

佐藤 真 (村上岩船 RC)

地区ロータリアンの皆様には、日頃よりロータリー財団委員会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。「世界でよいことをしよう」という標語を掲げロータリー財団は世界で活動しています。その使命は、「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の良い教育を提供し、環境保全に取組み、貧困を無くすことを通して、世界理解、親善、平和を構築できるように支援すること」です。その使命を胸に当委員会では活動することができました。

特に今年度の大きな成果は、「地区補助金申請・報告システム」の導入だと思っています。このシステムを運用することにより今後の事務作業量とミスの減少、過去のプロジェクトの運用等様々な利点が考えられます。また、財団セミナーの見直し、補助金管理セミナー開催時期の変更、財団ミーティングに ZOOM 会議の導入や財団ハンドブックの改訂などの改革も実施しました。これも偏に皆様のご理解とご協力のもと実行できたことであり、深く感謝申し上げますとともに今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

【2024-25 年度委員会報告】

1. 委員会活動

- ・ 7/27 第 1 回財団セミナー、11/30 補助金管理セミナーを開催し、地区補助金、グローバル補助金やロータリー財団についての理解に努めました。
- ・ 10/19-20 地区大会においてブースを設置しポリオ根絶にむけた PR 活動を実施しました。
- ・ 11 月のロータリー財団月間に合わせて 20 クラブで卓話を行いました。各クラブの財団への関心度が高まっている感じがしました。
- ・ 4/5 財団・米山感謝の集いを開催、高額寄付者に感謝状を贈り、財団・米山の活動に改めてご理解とご協力をお願いしました。
- ・ 5/17 にグローバル奨学生候補者オリエンテーションを実施しました。各種手続き、安全等の配慮・心得、ロータリーとの関わりなどについて説明を行いました。
- ・ 6/15 に学友会総会を実施し、皆さんから貴重な体験談を伺いました。また、新しく会員となられる奨学生も参加し和やかな会となりました。

- ・財団ミーティング、正副委員長会議、補助金システム勉強会等を実施し、情報の共有やセミナー等の準備やプロジェクト進捗状況等の打合せ等を行いました。

2. 地区の寄付実績（令和7年6月末）

- ・年次基金 123.43ドル／人 ポリオプラス 30.56ドル／人と年次基金は目標に届かなかったものの、ポリオプラスは目標を達成することができました。また、地区内の全クラブから年次基金の寄付をいただきゼロクラブ・ゼロも達成することができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

3. 地区補助金（DDF）報告

- ・地区補助金：昨年度より2件多い38件の奉仕プロジェクトが実施されました。

4. グローバル補助金（GG）報告

- ・高田 RC：グローバル奨学生（オランダ・エラスムス大学）

5. 寄贈

- ・2560 地区冠名基金（水と衛生）：\$ 25,000
- ・ポリオプラス：\$ 10,000
- ・ロータリー平和フェローシップ：\$ 10,000

☆結びに、皆さまの変わらぬロータリーの友情に感謝を申し上げ報告とさせていただきます。一年間ありがとうございました。



2024-25 年度を振り返って

2024-25 年度 米山記念奨学委員会

委員長

渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

第 2560 地区の皆様におかれましては、米山記念奨学委員会活動にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

2024-25 年度は新規 18 名・継続 8 名合計 26 名（10 カ国・8 大学）の奨学生を受入れスタートいたしました。これも皆様からのご寄付のお陰でございます。そして彼らに寄り添い心身ともに支えてくださったカウンセラー・世話クラブの皆様、お引き受けそしてお世話していただきありがとうございました。皆様のご理解とご協力に感謝し御礼を申し上げます。ありがとうございました。

南雲ガバナーの下、米山委員会一丸となって日本に勉学のために来日している留学生に安心して勉強する環境を整えられるよう、またロータリアンと交流できるよう活動して参りました。

<活動内容>

- ・ 8 月 7 日（水） 大学担当者向け米山奨学制度説明会
- ・ 8 月 25 日（日）～ 26 日（月） 米山記念奨学生親睦交流会
- ・ 10 月 5 日（土） 第 1 回米山記念奨学委員長セミナー
- ・ 11 月 16 日（土） 米山記念奨学生学友会総会
- ・ 11 月 16 日（土） 面接官オリエンテーション
- ・ 12 月 12 日（木） 下山中学校との交流会
- ・ 12 月 21 日（土） 学友会主催クリスマス会
- ・ 12 月 21 日（土） 米山奨学生書類選考会
- ・ 1 月 18 日（土） 米山記念奨学生面接選考会
- ・ 2 月 8 日（土） 第 2 回米山記念奨学委員長セミナー
- ・ 4 月 19 日（土） カウンセラー研修会
- ・ 4 月 19 日（土） 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会

2560 地区内では 8 月 7 日の大学担当者向け米山奨学制度説明会から南雲ガバナー年度の委員会活動が始まり上記の事業を行いました。

8月25～26日には米山奨学生親睦交流会を佐渡で行い、当日は35度を超える猛暑日となり？汗をかきながらの2日間となりました。奨学生・カウンセラー・ロータリアンと意見交換や交流をしながら親睦を深め楽しく意義のある親睦交流会となりました。

また当地区では昨年度に引き続き下山中学校との交流会・クリスマス会等行事を行い友と奨学生の交流も盛んに行い、奨学生卒業後も交流をしていけるよう活動いたしました。

米山記念奨学生を受入れ、事業ができたのも皆様からの心のご寄付、協力のお陰でございます。寄付増進に努めていただきましたクラブ会長及び米山奨学委員長はじめ、ご寄付・ご協力いただきましたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。今後とも引き続き皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

また、南雲ガバナーには米山奨学事業にご理解いただき、ほぼ全ての行事にご参加頂き、奨学生また地区委員と交流をしていただきました。心より感謝申し上げます。そして地区米山委員の皆様にもお忙しい中、委員会活動にご協力いただき支えて頂きました。皆様のお陰で1年間活動できました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、1年間ご支援いただきました全てのロータリアンの皆様に御礼を申し上げて、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。









南雲年度を振り返って

2024-25 年度ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長

大宮 一真 (新潟東 RC)

南雲年度でセンター長をさせていただきました大宮です。センター長 1 年目で、南雲ガバナー、阿部地区幹事をはじめ地区役員の皆様、各クラブ会長、連絡員の皆様大変ありがとうございました。

今年度も、様々な災害被害がありました。

2024 年 9 月、能登半島地震で甚大な被害のあった能登半島に未曾有の豪雨災害が発生しました。2025 年 2 月大船渡市において、平成以降国内の林野火災で最大の被害が発生しました。2025 年 3 月 28 日マグニチュード 7.7 の地震がミャンマーで発生しました。2560 地区のロータリアンの皆様には、多大なるご支援をいただきました。書面ではございますが、ここに感謝申し上げます。

最近では、国内で例年を上回る猛暑日が続いております。

また、隣国では、大洪水による甚大な被害も発生しております。ここ数年、頻繁に異常気象が起こり、世界各地で甚大な被害が発生しております。

当地区 2560 地区もいつ何時、豪雨災害・地震・雪害等が起こるか分かりません。平時の準備がより重要視されます。

そこで、南雲年度では、3 月に防減災セミナーを開催し、メンバーの防災意識の高揚を目的に開催いたしました。また、各関係団体の方々にも参加いただき、日頃からの連携もさせていただきました。

もしも、災害が起こった時には、当センターがリーダーシップを発揮し、ガバナーをはじめガバナー補佐、地区役員との情報共有をしながら、対応策を協議していかなければなりません。その時は、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、関係された全てのロータリアンに感謝申し上げますと共に、今後は大きな災害が無い事、当センターがある意味活躍しない事（災害対応がない）を切に願いたいと思います。一年間、ありがとうございました。



進化し浸透する地区ラーニング委員会へ 南雲年度を振り返って

2024-25 年度地区ラーニング委員会

委員長

佐藤 真 (村上岩船 RC)

当地区には、国際ロータリーが必須とする5つの委員会のひとつ、地区研修委員会（地区ラーニング委員会）が存在せず、研修の実施運用と受講する素地が薄く、そのためにロータリーに対する知識不足やクラブ独自の進化により、時として問題を引き起こす要因のひとつと考えられております。高橋年度で提言された当委員会では、米山年度での施行にあたり、まず南雲年度のガバナー補佐研修パート1、続きパート2を実施しのちにガバナー補佐各位の強い要望によりパート3を実施し想定以上の効果を体験いたしました。クラブ会長幹事においても次年度の準備は、PETSがスタートであり不安なまま、当該年度を迎えることが通例でした。12月に開催されたクラブ会長幹事研修は、心と知識の準備を行い、既に顔合わせしたガバナースタッフや同期クラブ会長幹事と共にPETSに参加することで有意義な時間を共有出来たと実感しております。

その他にも、形骸化していた「地区チーム研修セミナー」もガバナー補佐と地区委員会委員長が参加し、国際協議会から帰国したガバナーエレクトから次年度のRIテーマおよび地区方針を共有され、地区リーダーとして心をひとつにすることが出来ました。また、例年パストガバナー輪番で「地区研修リーダー」を行ってまいりましたが、「研修」から「ラーニング」へ移行することもあり、高橋パストガバナーが3年任期で地区研修リーダー（地区ラーニング・ファシリテーター）として益々スキルアップした地区ラーニングを実施することとなりました。

米山年度で「施行」以上の成果をあげることができ、南雲年度で「運用」そして室賀年度では「継続」するように地区ラーニング委員会として更なるステップアップしてまいります。

高橋年度、米山年度、南雲年度の委員長を拝命し、当地区として本格的な研修委員会（ラーニング委員会）起動させるにはかなりの作業量と実行する行動力が必要だと考えました。オープニングスタッフの選任は、私と一緒に阿吽の呼吸で「仕事をしてくれる」人をお願いしました。私のガバナー年度を支えてくれた地区幹事の新発田ロータリークラブ渡邊明紀さんには副委員長として運営全体の責任者としてお願いし、研修（ラーニング）の資料とシナリオ制作担当には、私がガバナー補佐の時に一緒に汗をかいた川瀬年度地区幹事の三条ロータリークラブ関川博さん。その2名の指南役で地区事情に精通した新保年度地区幹事の新潟万代ロータリークラブ丹治芳子さんには、全体の総括をお願いしました。この3名がオープニングではゼロからのスタートにも関わらず計画、運営、ラーニング

を実施いたしました。もちろん、地区研修リーダー（地区ラーニング・ファシリテーター）の高橋パストガバナーが当初から、RI から求められているファシリテーションの礎を築いてくださったことが当委員会を盤石なものにしていると思うと感謝の言葉も見つかりません。そして、いつも困った時の支えとなっていたいただいた顧問の鈴木パストガバナーには幾多の苦難や難局を乗り越える力をいただきました。

当該委員会は、ガバナーの意向を大きく反映させることも重要任務となるため、委員会メンバーはガバナー選出分区より 2 名以上をお願いしてスタートいたしましたが、ようやく各分区から委員の参加が叶いました。委員のみなさんは当委員会の意義や主旨を理解いただき目覚ましい進化を実感しております。3 年任期の当委員会ということもあり準備委員会から丁度 3 年の南雲年度にて任を下ろしていただき、室賀年度からは高橋パストガバナーへ襷を渡しました。高橋パストガバナーは同時に 3 年任期で「地区ラーニング・ファシリテーター」を兼務されます。今後は、当該委員会が末長く継続し目標とする各クラブにラーニング委員会の設立と、各クラブにクラブ・ラーニング・ファシリテーターが任命されラーニングが浸透することを祈念して、結びとさせていただきます。





ロータリアンとして 生きる糧となった国際大会参加

2024-25 年度地区副幹事

中野 まゆ (長岡 RC)

南雲年度の国際奉仕委員会副幹事として、初めて国際大会に参加させていただきました。今回は地区から 17 名の方がご参加くださいました。会場のカナダ・カルガリーは移動時間や時差があるにも関わらず、多くの方からご参加いただき、大変ありがとうございました。

初めての国際大会参加は、ひと言で言えば「最高」でした！

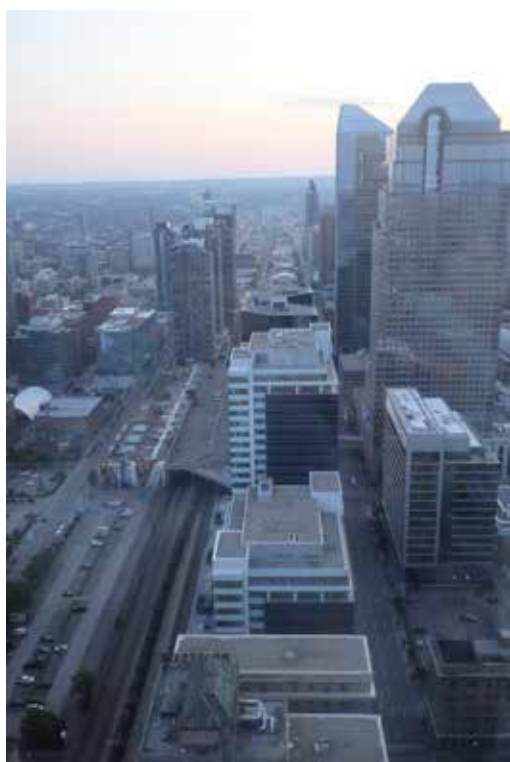
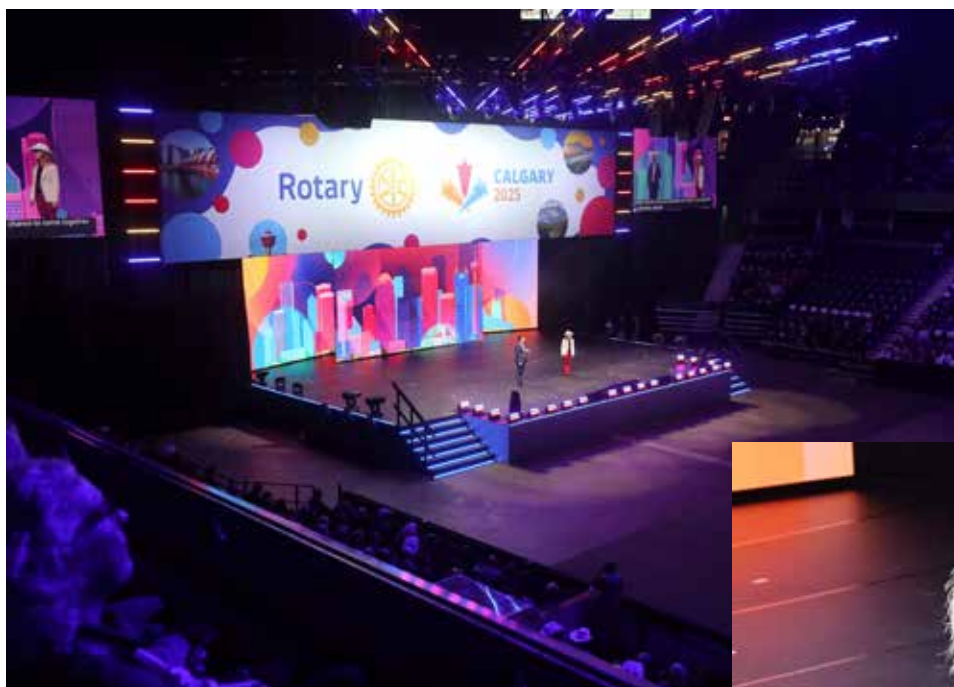
多くのロータリアンと親睦を深めることができました。国際大会に参加しなければ味わえない出来事でした。会場では大勢のロータリアンとすれ違うのですが、自然と互いに挨拶を交わし合い、とても感動的でした。互いに同じ志を持つロータリアンということなののでしょうか。一般的な海外旅行とは違う楽しさと感動がありました。

友愛の家でも、たくさんの人々の思いに触れることができました。展示の説明を受けることがきっかけで、共に握手をしたり、写真を撮りあったり、現代らしく SNS ですぐに繋がったりしました。たった一つの会場で短時間に多くの国の方々と親睦を深められることに驚きました。

開会式では、いつも誌面やインターネット上でしか存じ上げないアーチック RI 会長のお姿やお話しを、世界中から参加しているロータリアンと共に、同じ会場で分かち合え、貴重な経験をすることができました。

地区ナイトではロータリーや人生の先輩方と親睦を深め合うことができました。ありがたいことに 24 名もの方がご参加くださいました。日本にいるときは夜に出かけることがなかなかできないので、本当に貴重な時間となりました。

早速、来年の国際大会に申込みました。室賀年度では台北にて 6 月 13 日から 17 日にかけて開催されます。ここでもまた、大勢の方がわたしのような経験をされることでしょう。ロータリー活動は地道なことも多いのですが、国際大会はそのような日々を彩る素晴らしい場所になること請合いです。わたしはロータリアンとして生きるための活力をもらいました。皆さま、来年ぜひ台北で会いましょう！



分区	クラブ名	ロータリー財団寄付 (\$)							ロータリー米山記念奨学会寄付 (\)					
		会員数 (23/07/01)	年次基金 一人当たり 寄付額	ポリオプ ラス人当り 寄付額	2023年7月1日-2024年6月30日				会員数 (24/01/01)	一人当たり 平均寄付額	普通寄付金 単価 (年額)	2023年7月1日-2024年6月30日		
					年次基金 総計	ポリオプ ラス基金	恒久基金他	合計				普通寄付金	特別寄付金	合計
R 第2560地区	第1分区	377	148.59	29.48	56,018.71	11,114.76	1,170.85	68,304.32	382	19,952	☆	2,059,000	5,562,590	7,621,590
	第2分区	446	114.13	24.66	50,899.80	10,996.68	7,065.00	68,961.48	460	17,539	☆	1,830,000	6,238,000	8,068,000
	第3分区	94	166.53	22.60	15,653.51	2,124.04	1,000.00	18,777.55	96	18,251	☆	388,000	1,364,079	1,752,079
	第4分区	353	76.26	29.19	26,918.86	10,303.99	0.00	37,222.85	354	14,586	☆	1,324,000	3,839,580	5,163,580
	第5分区	297	130.09	30.91	38,635.73	9,179.60	0.00	47,815.33	293	18,611	☆	1,180,000	4,273,000	5,453,000
	第6分区	114	108.94	19.92	12,419.29	2,271.33	525.00	15,215.62	122	12,057	☆	564,000	907,000	1,471,000
	第7分区	303	146.31	41.97	44,331.07	12,717.10	525.00	57,573.17	314	16,844	☆	1,460,000	3,829,125	5,289,125
	合 計	1,984	123.43	29.59	244,876.97	58,707.50	10,285.85	313,870.32	2,021	17,228	☆	8,805,000	26,013,374	34,818,374
第1分区	新発田	87	156.01	31.38	13,572.82	2,730.00	0.00	16,302.82	92	20,000	10,000	895,000	945,000	1,840,000
	村上	38	126.33	20.29	4,800.64	770.96	0.00	5,571.60	38	16,638	4,000	152,000	480,250	632,250
	水原	33	150.00	35.75	4,950.00	1,179.77	0.00	6,129.77	34	17,529	4,000	134,000	462,000	596,000
	中条	49	154.03	30.90	7,547.68	1,514.00	0.00	9,061.68	50	20,732	4,000	196,000	840,600	1,036,600
	新発田城南	39	133.92	22.31	5,222.98	870.00	1,170.85	7,263.83	40	26,744	4,000	158,000	911,740	1,069,740
	豊栄	23	114.51	30.00	2,633.65	690.00	0.00	3,323.65	23	17,478	4,000	92,000	310,000	402,000
	新発田中央	43	160.47	32.09	6,900.00	1,380.00	0.00	8,280.00	43	20,047	4,000	174,000	688,000	862,000
	中条胎内	39	150.84	30.00	5,882.70	1,170.00	0.00	7,052.70	37	17,757	4,000	156,000	501,000	657,000
第2分区	村上岩船	26	173.39	31.16	4,508.24	810.03	0.00	5,318.27	25	21,040	4,000	102,000	424,000	526,000
	新潟	78	82.38	17.50	6,426.00	1,365.00	1,000.00	8,791.00	81	11,833	4,000	312,000	646,500	958,500
	新潟東	62	75.81	15.28	4,700.26	947.22	550.00	6,197.48	64	13,953	4,000	248,000	645,000	893,000
	新潟南	113	131.82	26.08	14,895.13	2,946.57	0.00	17,841.70	114	19,285	4,000	452,000	1,746,500	2,198,500
	佐渡	4	64.94	0.00	259.76	0.00	0.00	259.76	4	22,000	4,000	16,000	72,000	88,000
	新潟西	52	119.95	31.15	6,237.20	1,620.00	1,050.00	8,907.20	55	19,636	4,000	208,000	872,000	1,080,000
	佐渡南	38	53.28	33.68	2,024.70	1,280.00	315.00	3,619.70	39	11,872	4,000	154,000	309,000	463,000
	新潟北	36	153.24	25.00	5,516.75	900.00	525.00	6,941.75	38	21,368	4,000	148,000	664,000	812,000
第3分区	新潟中央	23	175.22	36.43	4,030.00	837.89	1,575.00	6,442.89	24	26,875	4,000	92,000	553,000	645,000
	新潟万代	40	170.25	27.50	6,810.00	1,100.00	2,050.00	9,960.00	41	22,683	5,000	200,000	730,000	930,000
	新津	15	81.02	3.55	1,215.28	53.28	0.00	1,268.56	15	13,200	4,000	60,000	138,000	198,000
	村松	15	174.82	34.00	2,622.31	510.00	0.00	3,132.31	17	5,588	4,000	68,000	27,000	95,000
	白根	31	293.55	36.77	9,100.00	1,140.00	1,000.00	11,240.00	33	18,242	4,000	132,000	470,000	602,000
	新津中央	27	88.24	15.58	2,382.59	420.76	0.00	2,803.35	26	31,888	4,000	106,000	723,079	829,079
	阿賀野川ライン	6	55.56	0.00	333.33	0.00	0.00	333.33	5	5,600	4,000	22,000	6,000	28,000
	三條	54	75.64	25.44	4,084.40	1,373.83	0.00	5,458.23	57	21,193	4,000	222,000	986,000	1,208,000
第4分区	燕	42	37.56	10.00	1,577.57	420.00	0.00	1,997.57	42	4,500	2,000	84,000	105,000	189,000
	加茂	29	72.41	6.56	2,100.00	190.16	0.00	2,290.16	30	10,267	4,000	118,000	190,000	308,000
	三條南	37	104.05	36.08	3,850.00	1,335.00	0.00	5,185.00	38	16,053	4,000	154,000	456,000	610,000
	分水	30	73.52	5.32	2,205.63	159.62	0.00	2,365.25	30	18,000	4,000	120,000	420,000	540,000
	見附	20	9.86	128.21	197.20	2,564.20	0.00	2,761.40	20	6,000	4,000	80,000	40,000	120,000
	吉田	23	49.35	31.30	1,135.00	720.00	0.00	1,855.00	25	8,720	4,000	98,000	120,000	218,000
	三條北	52	170.50	33.61	8,866.20	1,747.90	0.00	10,614.10	47	27,872	4,000	198,000	1,112,000	1,310,000
	巻	26	54.49	23.50	1,416.66	611.09	0.00	2,027.75	25	12,520	4,000	104,000	209,000	313,000
第5分区	田上あじさい	6	17.61	0.00	105.65	0.00	0.00	105.65	6	3,333	2,000	10,000	10,000	20,000
	三條東	34	40.60	34.77	1,380.55	1,182.19	0.00	2,562.74	34	9,635	4,000	136,000	191,580	327,580
	長岡	47	175.28	31.28	8,238.12	1,470.00	0.00	9,708.12	44	24,227	4,000	182,000	884,000	1,066,000
	柏崎	45	76.12	31.33	3,425.25	1,410.00	0.00	4,835.25	45	12,667	4,000	180,000	390,000	570,000
	長岡東	60	173.51	30.58	10,410.49	1,834.80	0.00	12,245.29	58	22,690	4,000	236,000	1,080,000	1,316,000
	柏崎東	41	65.96	28.54	2,704.23	1,170.00	0.00	3,874.23	41	11,317	4,000	164,000	300,000	464,000
	栃尾	20	157.50	33.91	3,149.94	678.28	0.00	3,828.22	20	20,800	4,000	80,000	336,000	416,000
	長岡西	49	159.64	31.97	7,822.38	1,566.52	0.00	9,388.90	50	24,560	4,000	198,000	1,030,000	1,228,000
第6分区	柏崎中央	35	82.44	30.00	2,885.32	1,050.00	0.00	3,935.32	35	11,229	4,000	140,000	253,000	393,000
	十日町	28	95.36	10.60	2,670.00	296.73	0.00	2,966.73	36	11,944	5,000	180,000	250,000	430,000
	小千谷	27	184.42	33.70	4,979.31	910.00	525.00	6,414.31	27	15,481	6,000	162,000	256,000	418,000
	雪国魚沼	26	148.24	20.00	3,854.22	520.00	0.00	4,374.22	26	10,000	5,000	130,000	130,000	260,000
	十日町北	11	8.52	2.84	93.76	31.24	0.00	125.00	10	10,500	0	0	105,000	105,000
	津南	14	10.71	21.43	150.00	300.00	0.00	450.00	15	14,000	4,000	60,000	150,000	210,000
	越後魚沼	8	84.00	26.67	672.00	213.36	0.00	885.36	8	6,000	4,000	32,000	16,000	48,000
	高田	67	193.04	105.67	12,933.65	7,079.62	0.00	20,013.27	66	19,470	4,000	228,000	1,057,000	1,285,000
第7分区	直江津	72	156.59	30.83	11,274.29	2,220.00	0.00	13,494.29	74	20,000	10,000	730,000	750,000	1,480,000
	新井妙高	34	101.27	32.03	3,443.24	1,088.97	0.00	4,532.21	36	12,333	4,000	140,000	304,000	444,000
	糸魚川	43	98.85	6.98	4,250.35	300.15	0.00	4,550.50	46	8,120	0	0	373,500	373,500
	高田東	33	92.42	18.39	3,049.86	606.90	0.00	3,656.76	34	19,471	4,000	134,000	528,000	662,000
	糸魚川中央	26	235.60	31.59	6,125.63	821.39	525.00	7,472.02	30	23,488	4,000	116,000	588,625	704,625
	越後春日山	28	116.22	21.43	3,254.05	600.07	0.00	3,854.12	28	12,143	4,000	112,000	228,000	340,000
	D2560	0	0.00	0.00	0.00	1,922.76	0.00	1,922.76				0	177,913	177,913
	総合計	1,984	123.43	30.56	244,876.97	60,630.26	10,285.85	315,793.08	2,021	17,316		8,805,000	26,191,287	34,996,287